



在京古高同窓会会報
第53号

〒352-0031
新座市西堀2-17-37
在京古高同窓会事務局
☎・FAX (042) 494-1598
URL: http://furuko-doso.com/tokyo
Email: skyoji@jcom.home.ne.jp
発行責任: 曾根 研一
編集長: 亀井 明
印刷: (株) ケーヨー

第21回 旧古川市内四校新年の集い

女性3名の「みやぎの民話」朗読や
プロ並の同窓生熱唱、

藤岡菜穂子世界チャンピオン来会で盛り上げる！

新春恒例の第21回旧古川市内四校同窓会「新年の集い」が、1月25日(土) 上野精養軒で開催されました。今年は古川学園高校の幹事で、出席者総数は221名(来賓含め)、古川高校卒業生会員は71名(来賓3名含め)でした。

第I部は、11時開会。古川市内四校学校長と大崎市長より故郷の近況をお聞きする良い機会となりました。

まず、四校を代表して古川学園の村田関東同窓会支部長が挨拶し、全国的にも希な四校合同「新年の集い」が平成6年の第1回より20年の歴史を刻み、今年第21回を迎えたのは慶賀に堪えない。それは繋いでくれた諸先輩のお陰であると感じ、感謝の言葉を述べられました。学校の枠を超えた同郷人による交流として本当に誇るべきことで、私も大切にしたい集いだと思直に感じた次第です。



左より萩原黎明支部長、村田古学支部長、高橋在京会長、木村古工会長

たちが厳しい環境の中でも学業もスポーツも優秀な成績をあげたことを話して下さいました。胸が熱くなりました。

引き続き、各校長が近況を交えて挨拶を行い、古川学園高校(宮本校長、山田理事長、春山同窓会会長)は、震災で全壊した校舎が多額の関係者のご協力で3月に新校舎が完成する喜びと共に、生徒

在京同窓会メモ

- ・会計年度は4-3月、年会費は2,000円です。
- ・会の健全運営のため、賛助金のご協力をお願いします。
- ・次回会報第54号は2015年1月1日発行予定、原稿は常時受付。

古川黎明高校(庄司校長、千葉同窓会会長)は、男女共学は順調だが、やはり女性が多く、宮城県北部に不足する医療・看護・福祉系人材育成ニーズに対応した専門学科の検討等未来への展望のお話を頂きました。故郷県北自治体との連携がうまく進めば良いなと思いました。

古川工業高校(大内校長、高橋同窓会副会長)は、宮城県北唯一の工業高校として順調に推移して来たが、進学が増加しつつあり、技術分野の変化に対応した新しい分野も考えていく必要のお話がありました。科学技術立国日本を支える人材を期待したいと思えます。

来賓として伊藤大崎市長、佐々木首都圏大崎連絡協議会会長、伊藤古川会会長が出席され、伊藤市長が挨拶。まず、震災支援での物心両面での支援に感謝。全壊・半壊住宅1000戸を解体し新築が進展中。県北の医療センターである大崎市民病院が地上9階、地下1階の新築大病院として3月完成し、4月5日式典を行う。これからは、震災復旧から本格的復興の段階に向けて、観光、産業育成、自然環境、地域ブランドづくり等のビジョンを説明されました。故郷を訪ねることがまず大事だと感じた次第です。



左より佐野三千代さん、鈴木ナカ子さん、渡辺星幸さん、相澤さん、猪股さん

第II部懇親会は12時45分に開宴。

言葉に出会い、一昔前のふるさと情景を思い起こし、全員が臨場感ある語りに引き込まれました。「大友かのえ」の昔語り「むかす あったづおんな ほれ」61話の中から3つの語り公演がありました。(大友かのえ・大正9年(1920年) 志田郡三本木秋田生れ) 各校同窓生の皆さんが協力して素晴らしい民話ワールドでした。

- 演目
- 1 「屁つたれ嫁子(よめご)」 語り部・渡辺星幸(黎明高39年卒・東大崎出身)
 - 2 「節分に豆まくわけ」 語り部・鈴木ナカ子(黎明高39年卒・三本木南町出身)
 - 3 「猫が鼠を捕るわけ」 語り部・佐野三千代(黎明高39年卒・古川千手寺出身)
 - ナレーター・佐野三千代、資料提供・相澤昭男(古高31年卒、三本木出身)、音響・猪股観(古工卒 加美町宮崎出身)。

恒例の物産コーナーも大人気で早々と完売でした。15時過ぎ、高橋在京古高同窓会会長の「故郷と日本の未来への強い思いと来年再会を誓う」閉会の挨拶で散会した。



藤岡奈穂子チャンピオンを囲んで

次回第22回「新年の集い」は、平成27年1月24日(土) 上野精養軒で開催予定。 昭42年卒 佐々木昭美(幹事)

萩原黎明高同窓会関東支部長が挨拶、木村古工関東同窓会会長が乾杯の音頭をとった。新春の華やかな雰囲気、盛りだくさんの料理とお酒酔いの上機嫌さも手伝って、再会の喜びや新たな出会い等交流を深めました。 本学上野氏(39年卒)や各校の有志によるプロ並みの歌声披露は素晴らしい拍手喝采でした。 昨年に続き、今年も藤岡菜穂子ボクシング世界チャンピオンがチャンピオンベルトを持って来場。大人気で多くの所で皆さんと写真撮影風景が出来ました。

ご挨拶

会長 高橋 俊裕



在京古高同窓会の皆様には寒い冬を切り抜けてお健やかに過ご

今年の桜はやや遅めでしたが、時節の到来と共に、鮮やかに咲き

開花は待ちに待った春の訪れを告げ、万葉の桜花は生きた喜びを心

大崎市からの便りでは、復興事業も軌道に乗ってきたとのことで

さて、懸念された消費税の導入も大きな混乱もなく、日本経済は

さて、本年の総会は来る6月21日(土) 上野精養軒で行います。本

立ち、我がアパートの窓からは8

本のクレインが、そして他にも百メートル以内に4本のクレインが見られます。どんな会社か、どんな人が、この建物を埋めるのか気になります。一時のパフルの様に簡単に弾けてしまわないよう実体経済の充実・拡充が望まれます。

目を外に転じると、世界各地で戦争が、紛争の火種が拡がって、取捨の道が見えてこないことが気がかりです。強力なリーダーがない世界の中で我が日本も右往左往しているように思えます。こんなことで内政が充実できるのか、経済を成長路線に乗せることが出来るのか心配です。

さて本年の同窓会の活動は1月26日恒例の四校新年会から始まりました。黎明OGの熟女たちの田舎語りの民話を大いに楽しみました。熟女たちもうなまりがなくなりましたねえ。

3月1日は母校卒業式。鹿野副会長と参列しました。鹿野副会長は、昔との違いにびっくりするやら感激するやらで、後輩を激励しておりました。

ところで本年に入って築館高校同窓会東京支部熱海支部長から在京古高同窓会との交流の申入れがありました。早速3月の幹事会で話し合い、具体的方法は別途検討することとして申し入れをお受けすることといたしました。本年の総会にまずは代表者をご招待することといたしました。

さて本年の総会は来る6月21日(土) 上野精養軒で行います。本年は役員改選期にあたりますの

で、新役員の選出がメインテーマとなります。幹事会の中に役員候補選出委員会を設置し、鋭意努力している所です。総会では自信をもつてご提案できるようにして参ります。

同窓会の悩みは財政基盤の弱いことです。先輩諸氏の蓄えも毎年20万取崩すことよって今は成り立っています。この状況を打破する為には会費納入会員の増加が必要不可欠です。魅力ある同窓会を作る為にも皆様に一肌脱いでいただいて仲間づくりをお願いいたします。

まずは6月21日総会には是非ご出席ください。会場で大いに交流を図り、会についてのご提案もいただきたいと思っております。多くの方とお会い出来ることを楽しみにしてご挨拶とさせていただきます。

ご挨拶 古川高等学校長 鈴木 悟



古高は、昨年までとひと味違う春を迎えています。会員の皆さんの多くが青春を燃やした南校舎教室棟が建てかえられ、スクールカラーの紫を基調とした瀟灑な新校舎が桜花と見事に調和していま

す。さて、在京同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。日ごろより母校に心を寄せていただいておりますことに厚く感謝申し上げます。

東日本大震災から今年4年目を迎えます。震災直後には、後輩たちのために多額の支援金を賜りましたこと、今も忘れられません。奨学金を直接授与された生徒は勿論、すべての生徒が、自分たちは先輩方と連なっているのだと感じ取った瞬間でもありました。

今、生徒諸君は、新しい校舎で文武両道に励み、自主自律・学問尊重・質実剛健の校訓を体現し、真の古高生になろうと真摯に頑張っております。また、「日々の勉強や部活動など一つ一つの活動が、きつと震災復興に役立つと信じてがんばる」と自らに言い聞かせて目標に向かって邁進しております。

今春も、多くの卒業生がこうした努力を重ね、高い志を持って母校を巣立って行きました。先輩の皆様方におかれましては、どうぞ、後輩たちをよろしく願っています。

私自身、2年間主催行事が重なり、在京古高同窓会総会に出席が叶いませんでしたが、今年万難を排して出席させていただこうと思っております。

慢心することなく、初心にかえり微力ながら少しでも古高のお役にたつために精進する所存です。今年度も昨年同様よろしく願っています。

第20回四校合同新年会 古高出席者名簿

Table listing names and affiliations of attendees from four schools: Keiyo High School, Kyugaku High School, and others. Includes names like 植田 雅俊, 鈴木 悟, 高橋 俊裕, etc.



本部同窓会の近況について

古川高校同窓会
会長 渡邊 義之



ここ大崎の地に、花爛漫の春がまいました。在京同窓生の皆様方、お元気で過ごして下さるか。常日頃、多大なるご支援、ご指導を賜り、心から謝意を表します。

さて、本部同窓会の近況ですが、昨年8月の総会には、在京の高橋会長さんをはじめ、多くの方々に参加して頂き、盛会のうちに開催できましたこと、改めてご御礼申し上げます。総会では例年、同窓生の方の講演を依頼し、昨年は元東京大学大学院教授・現中国科学院教授の佐々木力氏(高17)を講師にお招きし、大変好評でございました。今年8月9日開催の総会では、北海道大学の千葉恵教授(高25)を予定しておりますので、母校の新校舎見学を兼ねて、多数の方々にご参加くださるようご案内申し上げます。

次に、母校の新校舎が竣工し、5月2日には、その落成式と創立記念の講演会が母校で開催され、

皆様ご存知の19回生の佐藤宗幸氏が在校生に講演をいたします。また新校舎の完成を受け、11回生の「士志の会」より、関南歌の木版額が体育館に寄贈されたことも申し添えます。



本年1月に新築工事が完了した南校舎

次に、支部活動の活性化の一助として、全支部に支部旗を贈呈しております。本年度中に完了する予定です。このことで、支部活動がより活発になることを期待しております。

次に、今年から同窓会の奨学金を授与する生徒を従来の3名から6名に増やし、ささやかでも母校生のお役に立てればと思っております。

さらには若い同窓生の活動を支援する方策としての予算措置も実施します。また、同窓会の真の自立と先生方に教育指導に専念して頂くため、事務局体制を強化致します。その為にも多くの方々がお金を納入して下さることをよろしくお願いいたします。

終わりに、在京同窓生の皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念し、ご挨拶いたします。(昭34年卒)

近況報告

事務局長 工藤 昭裕



在京同窓会会員の皆様、如何お過ごしでしょうか。

まずは新校舎についてご報告いたします。平成24年4月に始まった南校舎新築工事が本年1月半ばに完了し、供用を開始しました。3年生は卒業までの1ヶ月余りを新校舎で過ごし、それぞれ元気に巣立っていきました。

新校舎は各学年6つの普通教室に選択教室、更に1〜2階吹き抜けの多目的ホールを配置しています。各種集会や様々な展示・発表などに活用します。新たにスタートした古高に今後とも暖かいご支援いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

また、去る3月1日行われました卒業式では、在京同窓会会長高橋俊裕様、鹿野軍勝副会長にご臨席賜り、東京蛍雪賞授与と祝辞を頂きましたことに御礼申し上げます。

さて、本年度の入学式は、4月7日に行われ、2440名(内女子110名)の新入生を迎え、元気に毎日をご過ごしております。恒例の「新入生応援練習」では厳しい指導に耐え、この1ヶ月で校歌、関南歌、凱歌、応援歌等を覚え、正に真の古高生となったことと思われまます。



入学式で、応援団・生徒会・合唱部による校歌紹介

次に本年度の対築館高校定期戦についてご報告いたします。4月28日に古川高校を会場に15種目で開催され、7勝8敗で惜敗しました。悲願の大会6連覇はなりませんでしたが(通算成績37勝15敗3分け)。今年度も、開会式の生徒会長あいさつから火花を散らし合い、各試合とも白熱した攻防を繰り広げました。



対築館高校定期戦開会式

次に今年の卒業生の進路状況についてご報告申し上げます。今年

3月の卒業生も「文武両道」の旗印の下、その実力を遺憾なく発揮しました。国公立への現役合格率は、山形大医学部(医)や東北大四名などの難関大学を始め、昨年来上回る84名が合格しました。今後ますますの躍進と期待を込め、より一層の力を注いで参りたいと思っております。詳しくは別紙進路一覧表をご覧ください。

部活動では、総体で陸上部の三浦陽介君が三段跳びで東北大会出場、新人戦では佐々木志玲奈さんがやり投げで東北大会出場、ソフトボール部男子は総体で準優勝、新人戦では5年ぶりに優勝し、全国選抜大会に出場しました。バレーボール男子は総体ベスト8、スキー部では内藤法幸君が10kmクラシカルで総体及び国体予選の2大会で優勝し、インターハイと山形国体に出場と活躍しました。

文化部では、化学部が理科研究発表会で全国総合文化祭へ出場し、宮城県代表として見事な発表をし、最優秀賞を受賞しました。県作曲コンクールでは大瀧純平君が3年連続の特選を受賞しました。その他各部活動とも大いに活躍しました。今年度もさらに飛躍が期待されます。

最後に本年度の本部同窓会総会のお知らせです。本年度は8月9日(土)に大崎市古川の「芙蓉閣」で開催いたします。本年度は記念講演として、北海道大学教授である千葉恵様の講演を予定しております。どうぞ奮ってご参加ください。また、本年度当番幹事は高20、高25、高30、高35、高40、高45生です。是非本部同窓会を利用して、同期会の場としてお集まり下さいませよう重ねてご案内いたします。(昭49年卒)

東京蛍雪賞

去る3月1日に行われた卒業式には高橋会長と鹿野副会長が出席し、生徒会・クラブ活動等、生活全般にわたり功績のあった2名、生徒会長の今野省吾君と、応援団長の佐々木喜希君に東京蛍雪賞を授与しました。写真。



未来へ

生徒会長 今野 省吾

この度は東京蛍雪賞という素晴らしい賞をいただけましたこと、大変誇らしく思います。ありがとございます。こうして卒業を迎え思い出されるのはこの3年間で最も濃密であった、生徒会長としての1年間です。就任から私はどれだけ自分を磨くことができたでしょうか。生徒会でしか、会長としてしかできない経験を何度も

させていただきました。そうして活動する中で何度も自分と向き合い行動し、人間として成長することができたように思います。また、私は1年間自分が正しいと思う道を信じて精一杯生徒会をリードしてきたつもりです。後輩たちにも自分を信じて新たな古高をリードしていつてほしいです。

進化する古高

応援団長 佐々木喜希

私が1年間、古川高校の応援団長として役目を果たせたこと、東京蛍雪賞という大変素晴らしい賞をいただけただけのこと、これもすべて、多くの方々の支えがあつてこそ、心から感謝を申し上げたいと思います。卒業を迎えて、心に感じたのは早く過ぎてしまった古川高校3年間、その中の充実感でした。特に団長として過ごした日々は印象深いものでした。

去年、先代の団長のおかげで復活した一般応援歌、野球部の歌、球技部の歌、剣道部の歌は私たちの代でも応援団の仲間と古高生たちの積極的な取り組みによって、今回の定期戦では、ほぼ完璧に歌うことができました。それは、先代の団長の願いでもありました。定期戦では応援、競技においても今までにないほどの力を築高生に

ぶつけ、5連覇を成し遂げ、喜びを分かち合うことができ、古高生の良さを改めて感じ取ることができました。最後に、私は人生という名の道を進んで生きたいと思えます。そして後輩達はその力を得られる古高をもっと素晴らしい学校にしていくことを願っています。



祝辞を述べる高橋会長



左より高橋会長、佐々木君、今野君、鹿野副会長

平成25年度進路状況 (現役のみ)

国立大 64名

大学	学部	男	女	計
岩手	人文社会	3	1	4
	教育	1	2	3
	工	1	1	2
	農	1	1	2
東北	工	2	2	4
	医・看護	1	1	2
	農	1	1	2
宮城教育	教育・中等	4	4	8
	教育・初等	2	2	4
	特別支援	2	2	4

大学	学部	男	女	計
秋田	教育文化	1	1	2
	理工	2	2	4
山形	人文	3	2	5
	地域教育	2	1	3
	理	1	1	2
	工	4	4	8
	医・医	1	1	2
福島	人文社会	2	2	4
茨城	人文	1	1	2
	教育	2	1	3

大学	学部	男	女	計
茨城	工	1	1	2
	情報	1	1	2
筑波	体育	1	1	2
	生命環境	1	1	2
宇都宮	教育	1	1	2
	工	1	1	2
埼玉	理	1	1	2
千葉	文	1	1	2
	法経	1	1	2
	理	1	1	2

大学	学部	男	女	計
横浜国立	教育人間	1	1	2
	経済	1	1	2
新潟	工	2	2	4
	理工	1	1	2
金沢	理工	1	1	2
合計		49	15	64

公立大 20名

大学	学部	男	女	計
宮城	事業構想	1	2	3
	看護	1	1	2
	食産業	1	1	2
米沢栄養	健康栄養	1	1	2
高崎経済	地域政策	2	2	4
	経済	4	1	5
首都大東京	都市教養	2	2	4
神奈川立保健福祉	保健福祉	1	1	2
横浜国立	国際総合	1	1	2
新潟県立	人間生活	1	1	2
静岡県立	国際関係	1	1	2
合計		12	8	20

私立大 283名

大学	学部	男	女	計
青森	薬	1	1	2
岩手医	薬	1	1	2
盛岡	文工	3	2	5
	教育	1	1	2
石巻専修	理	4	4	8
仙台	体育	2	2	4
東北学院	文	3	10	13
	法	2	5	7
	経済	11	10	21
	経営	5	5	10
	教養	10	13	23
	工	5	1	6
東北工	工	7	2	9
	ライフデ	3	3	6
東北福祉	総合マネ	1	4	5
	総合福祉	3	17	20
	健康科学	1	5	6
	子ども科	5	5	10
東北薬	薬	2	2	4
宮城学院女子	学芸	10	10	20
仙台白百合女	人間	6	6	12
尚絅学院	総合人間	3	4	7

大学	学部	男	女	計
東北文化学園	総合政策	2	2	4
	科学技術	1	1	2
	医療福祉	1	3	4
東北芸術工	芸術	1	1	2
東北文教	人間科学	2	2	4
茨城キリスト	文	1	1	2
	常磐	2	2	4
国際医療福祉	保健医療	3	3	6
白鷗	経営	1	1	2
高崎健康福祉	健康福祉	2	2	4
群馬医療福祉	リハビリ	1	1	2
獨協	経済	1	1	2
文教	文	1	1	2
	国際	3	3	6
文京学院	保健医療	1	1	2
高美学園	芸術情報	1	1	2
神田外語	外国語	1	1	2
国際武道	体育	1	1	2
聖徳	児童	2	2	4
千葉工	情報科学	2	2	4
秀明	学校教師	2	2	4

大学	学部	男	女	計
青山学院	法	1	1	2
桜美林	リベラル	3	3	6
杏林	外国語	1	1	2
国立音	音楽	1	1	2
国際基督教	教養	1	1	2
駒澤	法	1	1	2
女子栄養	栄養	1	1	2
成蹊	法	1	1	2
専修	文	1	1	2
中央	文	2	2	4
	法	1	2	3
	総合政策	2	2	4
	経済	1	1	2
	商	1	1	2
帝京	外国語	1	1	2
東海	観光	1	1	2
東京家政学院	現代生活	1	1	2
東京工科	メディア	1	1	2
東京理	理工	1	1	2
東洋	経済	1	1	2
	法	1	1	2

大学	学部	男	女	計
東洋	経済	2	2	4
	国際地域	2	2	4
	生命科学	1	1	2
日本	経済	1	1	2
	商	1	1	2
	工	1	1	2
	理工	1	1	2
法政	経済	2	2	4
	社会	1	1	2
	人間環境	1	1	2
東京都市	工	1	1	2
武蔵野	経済	1	1	2
明治	文	1	1	2
	法	1	1	2
明治学院	政治経済	1	1	2
	文	1	1	2
立教	現代心理	1	1	2
	観光	1	1	2
	文	1	1	2
合計		124	159	283

卒業式に出席して

昭36年卒 鹿野 軍勝



3月1日(土)に古川高等学校の卒業式に出席しました。古高の卒業式に出るのには、昭和35年(1960年)に在校生として先輩達を送り出して以来のことでした。全員学生服姿だった当時とは違って、女子生徒は袴姿で、男子生徒はネクタイをつけてという風になら華やいだ雰囲気の中で卒業式でした。

東京蛍雪賞は、高橋会長より、前生徒会長の今野省吾君に、また前応援団長の佐々木喜希君にそれぞれ授与されました。

今野君はクラスの代表としても、友達に対する想い、父母に対する想い、そして恩師に対する想い等を素直に感情豊かに語ってくれました。佐々木君も応援団旗の引き渡しの際、指の先まで心が通っているようなキビキビした動作を見せてくれました。

卒業式は、クラス毎に担任の先生が全員の氏名を読み上げ、各クラス代表がまとめて卒業証書を授



卒業式

与され、その後代表が歌やパフォーマンスを交えながら伝えたい想いをそれぞれ伝える形で進められました。ある時は笑い、涙を誘い、またある時は心に響く言葉にこちらの心が動かされる楽しい一時でした。瞬く間に2時間以上がたっ

てしまいました。

思えば、今回の卒業生は、東日本震災を経験し、その影響を日々感じながら3年間の高校生活を送った稀有な人達なのです。人一倍豊かな感性を身につけた卒業生の皆さんが、夫々に思い描いた道に向かつて、堂々と胸を張って歩みを進めることを祈念しながら、楽しかった卒業式の記を終わります。(副会長)

創立記念日記念講演と

南校舎落成記念式典

昭42年卒 大友 文博

5月2日古川高校に於いて5月3日の創立記念日を祝し、古高42年卒で歌やテレビで活躍しているさとう宗幸氏の記念講演と併せて今年2月に完成した南校舎の落成記念式典が行われた。



創立記念日記念講演「花は咲く」を歌うさとう宗幸氏とコーラス部の皆さん

創立記念日記念講演は同期のさとう宗幸氏のトークショーという形で彼がギターを引きながら「青葉城恋歌」、「水仙歌」、「二度とない人生だから」、「花は咲く」の4曲を歌いました。

彼が歌手への道を選び「青葉城恋歌」に出会うまでの子供が生まれ家族が反対する中、歌の道を選

生徒諸君であるという訓示がありました。南校舎は鉄筋コンクリート3階建て一般教室と講義室などに利用され、外観は淡い紫色になっています。(監事)

旧制最後の44回生が

米寿の集い

昭20年卒 高橋 昭典



44回生は、旧制古川中学5年制最後の卒業生だが、今年全員が数え年で88歳。その米寿記念のクラス会が、八十八夜にあたる平成26年5月2日に、古川駅前大通りの「グランド平成」で開かれた。

44回生は総員176名だが、物故者105名、不明者20名で、生存者51名のうち12名(青田泰三、赤坂正也、伊藤和夫、大槻清人、桜井正徳、佐藤啓、佐藤昭二、高橋昭典、高橋政夫、千葉靖也、中沢国夫、三上福太郎)が出席し、旧交を温めた。

会では歳のせいとか、健康と野菜づくりの虫退治の話に花が咲いたが、皆一反以上の畑持ちだとか、東京人には羨ましい話だった。私達の学年は最後の1年間は学徒動員で仙台の兵器工場で合宿した仲なので、団結は固いのだが、最後の校歌と応援歌は調子はずれ。楽しい最後の一日だったが、昔の面影が全く残っていない古川の街並みには失望した。

内科・小児科 長井内科

院長 医学博士

長井弘策

昭和31年卒(高8回) 古川高校同窓会副会長

〒989-6154

大崎市古川三日町1-3-25 TEL 0229 (91) 1020



情報処理のエキスパート 完成図書・デジタル化総合サポート

電子納品作成支援 おまかせください!

導入から成果品まで専任スタッフがきめ細かく対応しバックアップいたします。

専任スタッフ・有資格

CALS/ECインストラクター	10名
電子化ファイリング	2名
文書情報管理士1級	1名
文書情報管理士2級	3名

代表取締役会長 早坂清吉 (昭和29年卒)



http://www.keyo.co.jp E-mail:info@keyo.co.jp

本社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-1-6 ☎ 03-3242-0191 FAX 03-3242-0167

『江戸・東京探訪ツアー 2014』のご案内

同窓会本部、在仙、在京同窓会の共同企画になる「探訪ツアー」は、今年で早や6年目に入ります。

平成 20 年：荒雄川水系の風土と文化、平成 21 年：鳴瀬川水系の風土と文化、同 22 年は江戸・東京：両国界隈と屋形船、次いで 23 年：江戸城と靖国神社遊就館、同 24 年は北上水系と震災地見舞い、昨年はトヨタ工場見学と宮城の国宝めぐりで支倉常長の遣欧使節渡航 400 年記念と重なり、普段お目にかからないお宝を拝見して来ました。

今年は都内に目を向けて伊達藩にゆかりのある仙台掘りの御茶ノ水から神田明神界隈を散策しながら隅田川の水辺の遊覧を楽しみながら、神楽坂へ戻り日本料理を味わいたいと企画しております。

期 日：10 月 25 日(土) 午前 10 時過ぎ～午後 4 時頃

集合時刻：午前 10 時 45 分、JR お茶ノ水駅東口

コース概略：御茶ノ水→ニコライ堂・・・湯島聖堂・・・仙台掘りゆかりの碑・・・神田明神・・・
東京水道歴史館・・・隅田川遊覧・・・神楽坂(遅い昼食・懇親会)

参加費：8,000 円程(会食だけでも参加可能です)

申込先： Fax: 042-494-1598 ないし e-mail: skyoji@jcom.home.ne.jp

在京古高同窓会事務局 佐々木 恭次 宛

募集参加者：同窓生、家族及び探訪ツアーに興味ある方々

*尚 コースの探訪場所を全て探索しきれませんので、当日は更に興味あるコースに練り上げていく予定です。

皆さん方で、これはと思う所は推薦下さい。

事務局 佐々木恭次

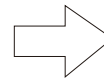
平成 25 年度予算の訂正について

前号(52号)の会報4面に掲載しました「平成25年度予算」におきまして、下記項目に誤りがありましたので、訂正させていただきます。会員各位にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

第4号議案(平成25年度予算)

支出の部

科目	摘要	金額(円)
会議費	役員・幹事会資料代他	80,000
印刷費	会報、案内状、封筒他	480,000
事務用品費	コピー・文具代他	10,000
事務経費	信陵会館年間契約料他	60,000
通信費	電話、切手、はがき他	180,000
慶弔費	東京蛍雪賞他	80,000
旅費交通費	本部総会、卒業式出席旅費他	100,000
活動費	ホームページ開設準備等	40,000
雑費	年会費振込手数料他	1,100,000
支出計		1,070,439
次期繰越金		2,170,439
合計		



金額(円)
80,000
480,000
10,000
60,000
180,000
70,000
80,000
100,000
40,000
1,100,000
1,070,439
2,170,439

かねてから懸案であったホームページ(H.P)が出来上がり、コンテンツは未だ不十分な点が多いのですが、是非お気に入りへ入れてみて下さい。

<http://furuko-doso.com/tokyo>

製作に関して、主に菊地務(昭41卒)、大友文博(昭42卒)両氏やデザイン担当を含めてこの1年間討議を重ねて、基本コンセプトは、

- ① 古高同窓会として作成する。
- ② 同窓生の活動・活躍を最新情報として発信する。
- ③ 学生同窓生向けに、同窓生の勤務先の会社(分野・職場)紹介等をベースにして構成しております。

① 項は、当面本部及び在京古高同窓会でスタートしますが、ツリー式に今後他地域の同窓会もHP開設に参入し易く約20のドメイン名まで増やせる。

② 項は、在京古高同窓会の特色として、投稿式で順次掲載。

③ 項は、相談窓口を設ける形。他に自由投稿欄や関係HPへのリンクを設けております。

このHPを見たら、母校、各同窓会、他校及び大崎市の動きも一早く情報が得られるように務めてまいりたいと思っております。よろしく投稿をお願いします。(事務局 佐々木恭次)

『古高同窓会ホームページ 開設しました』

タカラジェンヌ“蓮つかさ” 囲む会(後援会)開催のご案内

今年は宝塚創立100周年と新聞・テレビなどメディアを賑わしております昨今です。

我が古高同窓生の蓮つかささんも若手新人として男役で奮闘しておられます。

昨年の観劇と囲む会は、在学時の元校長山本照夫夫妻、元担任佐々木貴芳先生ほか多数の同期生が馳せ参じ、賑やかに交流会を開き、今後とも蓮つかささんを応援するエールを送りました。今年は下記要領で催したいと計画しております。未だ半年先ですので、演目名など決まっておりますので、改めてご案内差し上げるようにしたいと思います(在京古高同窓会ホームページに決まり次第お知らせします)。

家族や友人も誘って奮ってご参加下さい。

日 時：平成 26 年 12 月 13 日(土) ないし 20 日(土)

場 所：○観劇会：15 時 30 分開演(15 時開場)、18 時 30 分終演予定

東京宝塚劇場(東京都千代田区有楽町 1-1-3) Tel:03-5251-2001

○囲む会：19 時～21 時

学士会館(東京都千代田区神田錦町 3-28) Tel:03-3292-5936

参加費：①観劇会(S席)と参加費：14,000 円(予定)

②観劇会(A席)と囲む会：11,000 円(予定)

③囲む会だけへの出席：6,000 円(予定)

申し込み先：在京古高同窓会事務局 佐々木恭次宛に Fax ないし e-mail などで連絡ください。

Tel/Fax: 042-494-1598 e-mail: skyoji@jcom.home.ne.jp

ホームページ URL: <http://furuko-doso.com/tokyo/>



—お知らせ—

平成26年度 在京古高同窓会定時総会・懇親会

【日 時】平成26年6月21日(土)
11:30~15:00

【会 場】上野精養軒(右図参照)
JR上野駅公園口から徒歩5分 電話(3821-2181)

【会 費】8,000円

【講 演】鈴木 富七郎氏(弁護士)
演題:「日本人の精神文化を語る」(神と仏教の融合)
日本人の平和理念の根底にある精神文化について「和を以て貴しとなす」にあって、古来からの神道と仏教を融合させた精神文化であると確信されており、この観点から講演を行います。



【講演講師】鈴木 富七郎氏
プロフィール

昭和27年 宮城県白石高校卒
昭和33年 東京大学法学部私法学科卒
昭和34年 同大学公法学科卒
昭和36年 司法研修所終了、弁護士登録
平成 2年 第二東京弁護士会研修文化委員会委員長
平成 6年 同弁護士会常議員会委員長
平成 7年 日本弁護士連合会司法制度調査会委員長

主な関与事件
※富士山頂国有境内地譲与申請不許可処分取消請求事件、仙台市との墓地所有権確認請求事件等、民事訴訟事件に関与。
墓地関係問題で、全国規模で調停関与。

予告! 第22回 旧古川市内四校合同新年会

日 時:平成27年1月24日(土) 午前11時
場 所:上野精養軒

【出演予定】 第一線で活躍する同窓の音楽家の皆さんが集結します。

感動を再び!
来春の合同新年会は、6年ぶりに新春コンサートを開催します。

工藤 春彦(古高S47年卒)
東京放送管弦楽団コンサート・マスター(ヴァイオリン)

相澤 政宏(古高S62年卒)
東京交響楽団 首席フルート奏者

成田 博之(古高S62年卒) 二期会所属オペラ歌手
大和田雅洋(古高H1年卒) サクソフォン奏者
野間 春美(黎明高S63年卒) ピアニスト
他

会員通信

- 語り部が小生古川女子高在職中の生徒のようなので、(四校新年会)に出てみたいと思います。(S27中島正二)
- 人生81年目の2014年も健康第一で過せればと願っております。(S27氏家明朗)
- 地震国日本は原発が厳しい立場にある。代つて火力発電がしばらくは主役でしょう。そのために合金素材に頼るタービン翼をC/MC(セラミック基複合材料)に変えられるか否か、年内に見極めたら幸運です。(S29菊地 務)
- やつと、名刺不要の生活になりました。(S29長浦 稠)
- 元気で読書・書道・テニスなどをたしなんでいます。(S30門脇敏明)
- 77歳になり、これが最後のチャンスと思ひ、小さなホールでシューベルトの「菩提樹」を歌ってみることにしました。先生からは「イチ・ニツ・サン・イチ・ニツ・サン」では駄目だよと言われて猛練習中です。うまく行けば次回回は「辻音楽師」か? (S30高橋 廣)
- 喜寿を過ぎ身体の不具合がいろいろ出てますが、地元町内会役員(雑用係)を10数年やっています。又ボケ防止に囲碁に精出してあります。(S30手島篤郎)
- 中途障害者(車イス・視覚・高次脳障害など)の外出支援を無報酬で行うボランティアを立ち上げ2年目に入りました。会員も増え新たな体制で取りくんでおります。(S33早坂英郎)
- 名幹事さんのお蔭で豊かな老後を送らせていただいております。(S33渡邊紘也)
- 昨年は2回共に目の手術、腰椎の手術で約4ヶ月入院し、両会に参加を希望してドタキャンをして迷惑をかけて申し訳ありませんでした。今年から又いつものように復帰したいと思ひます。(S36菅野俊次)
- のんびりとやりたい事をやっています。散歩はかかさず、家中の不用品の処分など。(S36佐藤宗博)
- 4年前より卓球を始めました。東京予選を通るのに大変です。今年は東京選手権本選に出場することが出来ました。(S38菅原清春)
- 「久しぶりに」ではなく、はじめに会(同窓会)に参加します。民話を楽しみます。(S38遊佐義男)
- 幹事の皆様、ご苦労様です。毎年の新年会・懇親会を楽しみにしております。(S41農研機構・生活センター高橋秀之)
- 妻が昭和46年古川女子高卒業生です。一緒に(四校新年会に)出席させて下さい。(S42門田芳司)
- 今年も空手道私塾「森谷塾」は、神社にての初稽古を終えスタート出来ました。(S42森谷里美)
- 昨年7月東京国税局を定年退職し、同8月税理士登録しました。(S46鈴木 博)

編集後記

三浦 憲一氏(昭和29年卒)
平成25年12月14日

高橋 幸雄氏(昭和32年卒)
平成25年11月20日

水上 武彦氏(昭和36年卒)
平成25年12月6日

横山 実氏(昭和41年卒)
平成25年9月23日

心よりご冥福をお祈りいたします